

議 案 審 議

一般会計予算や条例の一部改正などに対する
質疑応答の内容を、要約して紹介します。

村長等の給与に関する
条例の一部改正

問 高橋七重議員

景気回復は実感されず、
物価上昇で住民生活が一
層大変な時期に、特別職
の期末手当を上げるべき
ではない。人事委員勧告
について、特別職は当て
はまらないのではないか。

答 総務課長

平成10年以前から行財
政改革が叫ばれ据え置き
になっている。条例に基
づき適正に施行されてい
るものである。

反対 高橋七重議員

村長等の特別職は人事
委員勧告に当てはまらな
いこと、住民生活の実態
を鑑み引き上げるべきで
はない。

賛成 吉田好之議員
人事委員勧告は県に従

つてのものである。
(採択の結果、賛成10、
反対1で可決)

平成31年度平田村一般
会計予算について

＜公民館等複合施設整備工
事設計委託料について＞

問 高橋七重議員

庁内プロジェクトチー
ムでは、複合施設だけで
結論を出したのか。それ
とも廃校舎等利活用も含
めて検討したのか。フィ
ットネスクラブも老朽化
している。公共施設の在
り方を一度整理し、計画
を立てるべきではないか。

答 総務課長

取り壊し、利活用も含
め検討している。フィッ
トネスクラブも、今後計
画づくりをしていく。

再問 高橋七重議員

検討していることは聞

いている。公共施設の利
活用を検討してから複合
施設建設にとりかかるべ
きではないか。

答 村長

利活用等も含め企画立
案している。今やらなけ
ればならない事業である
と結論を出したうえで
提案である。

再々問 高橋七重議員

複合施設は、誰もがス
ポーツを気軽に楽しめる
環境にならないのではな
いか。

答 村長

複合施設は保健センタ
ー機能を取り入れるもの
であり、スポーツゾーン
としての計画ではない。

問 三本松和美議員

基本設計の段階で、全
員協議会で協議できるよ
う要請したい。

答 総務課長

議会議長からの要請が
あれば、その都度説明さ
せていただきたい。

＜地域型保育事業につい
て＞

問 高橋七重議員

村内では民間による初
めの小規模保育施設と
なるが、行政の指導はど
こまで行うのか。国等の
補助金は初年度以降も交
付されるのか。

答 教育課長

条例で運営に関する基
準を定めており、報告・
書類提出・立ち入り検査
等を行う。補助金は、国
1/2、県と村が1/4
ずつ支出する。

＜職場環境について＞

問 高橋七重議員

体調を崩し退職する職
員は多い。この状況をど
う捉えているのか。

答 総務課長

希望退職がほとんど。
健診やストレスチェック
で健康管理に努めている。

再問 高橋七重議員

職員間のコミュニケーション、長い目で職員を
育てていく等が必要。対

応はどうなっているのか。

答 村長

体調を崩しての退職は
ほとんどない。共に一生
懸命やろうという対応は
している。

再々問 高橋七重議員

仕事に余裕がない状況
を改善するため、適正職
員数に近づけるべきでは
ないか。

答 村長

より働きやすい環境、
若い職員の意識の持ち方
を重要視しながら、これ
からもしっかり検証しな
がらやっていきたい。

＜今後の財政運営につい
て＞

問 佐藤一議員

あらたな建物建設はや
め、既存の建物を再利用
し健全財政をすべき。短
期的、長期的な計画をど
のように考えているのか。

答 総務課長

第5次総合計画や過疎
自立計画との整合を図り
優先事業を計画し、有利

な補助事業、起債事業を
取り入れ進めている。

＜村道逆水論田線道路改
良舗装工事について＞

問 三本松和美議員

国からの交付金が予定
どおり交付されなかった
場合、工事は大幅に遅れ
るのではないか。

答 地域整備課長

早期完成に向け、財源
確保に努める。

再問 三本松和美議員

予定どおり交付金が交
付されない状況が続けば、
10年あるいはそれ以上の
年数を要する心配がある。
その場合、村道逆水論田
線に集中して道路工事を
行うのか。

答 地域整備課長

事業内容を精査しなが
ら優先順位をつけて行う。
＜ジュピアランドひらた
整備事業について＞

問 三本松和美議員

産業振興費・商工観光
費を分析すると赤字であ
る。根本的見直しにより、

再生が必要ではないか。

答 産業課長

定年後の貴重な働き場、観光による地域経済の活性化に繋がる。平成31年度に法人化を目指し組織力を強化することで、将来村の地域創生の大きな柱を目指すものである。

再問 三本松和美議員

財政面も考え、思い切った改革が必要ではないか。

答 村長

これまでは公園整備だったものを収支が取れるよう、あじさい園・ゆり園を始めた。ジュピアランドの長い歴史を考えてほしい。

〈ジュピアランドひらた法人化について〉

問 三本松和美議員

平成31年度予算に地域振興公社法人化のための予算が計上されているが、赤字決算となった場合、村は補填するのか。

答 産業課長

努力したにも関わらず損失補填する場合は、その必要性や経営の見通しと確実性について議会、住民に十分説明する。

再問 三本松和美議員

法人化によって経営を安定させるために、どのような取り組みを考えているのか。

答 産業課長

公園有料化により経営改善に繋げる。また、情報発信・誘客に努める。

答 村長

いろいろな要素があり事業をしていることを理解してほしい。

再々問 三本松和美議員

財政負担をなくし、工夫して行うべきではないか。

答 村長

三本松議員が今言ったことは、過去に正反対のことを主張していた。今までの議事録を見直してください。

三本松議員修正動議

農林水産費・商工費にかかるジュピアランド整備事業費4042万5千円(臨時・委託職員賃金、旅費等)を減額し、修正案を提出。

修正案に対する質疑が交わされました。

問 阿部 清議員

ジュピアランドはこれから充実させなければならぬ。そこで働く人の人件費を明示しない予算案で良いのか。

答 三本松和美議員

事業全体の流れを修正し、収支の改善を図るため、予備費で支出できるようにした。

再問 阿部 清議員

来場者増加のため働いてきた方々の人件費をゼロにすることは、その方々を雇わないものと解釈する。

答 三本松和美議員

収支に関わることも、もう少し考えながら事業を進めてほしいという思いで、修正案を提出した。

討論

反対 瀬谷一男議員

人口減で企業誘致が進まない中、雇用面で期待できる。村民、来場者に耳を傾け、計画的に投資すべき。

(採択の結果、賛成1、反対10で否決)

次に、原案に対する討論が交わされました。

討論

反対 高橋七重議員

ジュピアランド開発に5000万円以上の維持経費のほか、あらたに事業を行うことは住民の意に反する。また、複合施設建設は廃校校舎利活用も含め検討すべき。

賛成 吉田好之議員

19の新規事業が含まれた予算を高く評価する。

反対 三本松和美議員

経常経費でも減額は可能であり、柔軟に対応すべきである。

賛成 佐藤孝雄議員

有利な起債、費用対効果を十分に配慮し、村民の付託に応える予算編成である。

(採択の結果、賛成7、反対4で可決)

平成31年度平田村国民健康保険特別会計予算について

の分の納付額をどう対処するのか。

答 住民課長

資産割は算定の対象外。

再々問 高橋七重議員

保険証の資格証受給者に対し、短期証に切り替えるようにとの通達は間違いないか。短期証受給者が、滞納が続くことで資格証に切り替えることはすべきではない。

答 住民課長

① 医療費の適正、重病化予防への取り組み等目標を定め達成した場合には交付金が交付される。本村では約300万円交付された。

② 現在、平成30年中の所得申告相談中で所得が確定しないため、本算定作業ができず断言できない。

当初予算において、基金の繰入れは計上していない。

賛成 吉田好之議員

平成31年度予算はスタートしたばかりであり、担当課の指導の下、実施すべき。

(採択の結果、賛成10、反対1で可決)